渋沢栄一年譜

1840年 天保11年 0 2月13日、武蔵国権沢郡血洗島村(現埼玉県深合市)に市郎右衛門、えいの子として生まれる 1858年 安政5年 18 尾高停忠の妹ちよと結婚 1861年 文久3年 21 江戸の海保整や千葉道場で文武の道を学び、天下の志士と交わる 1863年 文久3年 23 高崎城東つ取りや横浜の外国人館館の焼き討ちを計画するが、尾高長七郎(停忠の弟)の説得に 1864年 元治1年 24 平岡門四郎のはからいで善作とともに一橋家に仕官する 1868年 明治1年 28 フランスより帰国。静岡藩に仕える 1868年 明治1年 29 静岡藩に「商法会所」を設立。明治前政府に仕官。租税正となる 1873年 明治6年 33 大蔵音を辞任し、第一国立銀行総監役となる 1876年 明治9年 36 東京養育院の事務長となる 1878年 明治11年 38 東京帝法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(〜明治38年まで) 1879年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治16年 45 内藤兼子を妻に迎える 1896年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1901年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治42年 75 バナマ運団附通記念博覧会会社設立。 1916年 大正3年 74 日中経済のより緊囲な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 バナマ運団附通記念博覧会を見学し日米観話に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算證」を刊行する 1921年 大正19年 81 フラントン車職会議の視察のため選米し平和外交を促進する 1921年 大正19年 81 フラントン車職会議の視察のため選米し平和外交を促進する 1922年 大正19年 87 子蓋を授けられる 1922年 以和2年 87 日本国際児童教託会を創会した。日韓記式に出席する 松平軍信(楽的人の記編権に移わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童教護会を創会した。 開館式に出席する 松平軍信(楽的人の記編権に移わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童教護会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参り、郷院会の光栄に浴する 1930年 昭和5年 91 11月11日中前 1時 5 0 分永配	西暦	和暦	年齢	主なできごと
1861年 文久元年 21 江戸の海保塾や千葉道場で文武の道を学び、天下の志士と交わる 1863年 文久3年 23 高崎城乗っ取りや横浜の外国人商館の焼き討ちを計画するが、尾高長七郎(惇忠の弟)の説得に 1864年 元治1年 24 平岡円四郎のはからいで喜作とともに「橋家に仕官する 1865年 慶応3年 7 将軍徳川慶喜の弟・昭武に従いフランスのパリ万博などを視察する 1865年 明治1年 29 静岡藩に「商法会所」を設立、明治新政府に仕官。租税正となる 1873年 明治9年 35 東京養育院の事務長となる 1878年 明治11年 38 東京商託会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(~明治38年下) 1879年 明治11年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1883年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1896年 明治30年 57 流深倉庫部開業・十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男郵を授けられる 1902年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸園を夫とと共に訪問し、国際報酬に努める 1915年 大正5年 76 喜寿を機に引返し社会公共事業に戻わする。「論語と算館」を刊行する 1921年 大正5年 75 三年を機に多くの役員を辞任 1921年 大正5年 75 三年を機に引返し社会公共事業に戻わする。「論語と算館」を刊行する 1921年 大正10年 81 ワシントン軍権会議の視察のため渡米・甲和外交を促進する 1923年 大正10年 81 ワシントン軍権会議の視察のため渡米・甲和外交を促進する 1924年 大正10年 81 日本経済のより競技会会員会となり、復興に反力する 1924年 大正10年 81 ワシントン軍が議を表しまして、1914日 1924日 1924	1840年	天保11年	0	2月13日、武蔵国榛沢郡血洗島村(現埼玉県深谷市)に市郎右衛門、えいの子として生まれる
1863年 文久3年 23 高崎城乗つ取りや横浜の外国人商館の焼き討ちを計画するが、尾高長七郎(惇忠の弟)の説得により中止。渋沢喜作と共に京都にのぼる 1864年 元治1年 24 平岡川四郎のはからいて喜作とともに一橋家に仕官する 1868年 明治14年 28 フランスより帰国。静岡藩に仕える 1869年 明治2年 29 静岡藩に「商法会所」を設立。明治新政府に仕官。租税正となる 1873年 明治6年 33 大蔵省を辞任し、第一国立銀行総監役となる 1878年 明治15年 39 東京養育院の事務長となる 1879年 明治11年 39 東京教育院の事務長となる 1879年 明治12年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1882年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治16年 44 伊藤兼子を妻に迎える 1896年 明治34年 55 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。 + 勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を美くと共に訪問し、国際親護に努める 1915年 大正4年 75 パブ・運用・通記を構築会を見学し日・果護に努める 1915年 大正4年 75 パブ・運用・通記とは実験会を見学し日・果護に努める 1924年 大正5年 76 喜寿を機に多くの役員を辞任 1924年 大正5年 76 喜寿を機に多くの役員を辞任 1924年 大正19年 80 子爵を授けられる 1925年 大正19年 81 フシトン軍締会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1926年 大正19年 81 フシトン軍締会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1926年 大正19年 81 フシトン軍締会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1926年 大正19年 81 フシトン軍締合議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童視察のため渡米し平和外交を促進する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童視察のため渡米し下和外交を促進する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童視察会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御附倉の大学に浴する 1929年	1858年	安政5年	18	尾高惇忠の妹ちよと結婚
1863年 又久3年 23 より中止。渋沢喜作と共に京都にのぼる 1864年 元治1年 24 平岡円四郎のはからいで喜作とともに一橋家に仕官する 1867年 慶応3年 27 将軍権川慶喜の弟・昭武に従いフランスのパリ万博などを視察する 1868年 明治1年 28 フランスより帰国・静岡藩に仕える 1873年 明治6年 33 大蔵音を辞任し、第一国立銀行総監役となる わが国最初の洋紙製造会社(抄紙会社)の創立を指導、運営。 1876年 明治1年 38 東京商法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(~明治38年まで) 1879年 明治11年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1882年 明治15年 42 妻ち太宏 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治30年 56 第一面立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治33年 57 武澤倉庫部開業・十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 51 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1915年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を葉くため、中国を視察し親薦に努める 1916年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を葉くため、中国を視察し親薦に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退とは会公共事業に尽力する。「論語と算鎖」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正19年 81 ワシントン軍総会議の視察のため選米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 38 関東大震災・大震災・勝後会副会長となり、復興に尽力する 高行会募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親嘉会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親嘉会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1929年 1944年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1929年 1944年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1929年 1944年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1929年 1944年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1944年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1944年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1944年 1	1861年	文久元年	21	江戸の海保塾や千葉道場で文武の道を学び、天下の志士と交わる
より中止、洗済機を上共に京都にのぼる 1864年 元治1年 24 平岡円四郎のはからいで喜作とともに一橋家に仕官する 1868年 明治1年 28 フランスより帰国。静岡浦に仕える 1869年 明治2年 29 静岡酒に「商法会所」を設立。明治新政府に住官。租税正となる 1873年 明治6年 33 わが国最初の洋紙製造会社(抄紙会社)の創立を指導、運営。 1876年 明治9年 36 東京養育院の事務長となる 1878年 明治11年 38 東京商法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(~明治38年まで) 1879年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治15年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治3年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1900年 明治33年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナン連河開通記念博覧会を見学し日米親善「努める 1921年 大正4年 75 パナン連河開通記念博覧会を見学し日米親・医勢のと 1921年 大正5年 80 子爵を授けられる 1921年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 フシントン単縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 81 関東大震災、大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1923年 大正12年 81 関東大震災、大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1924年 大正15年 87 日本国際児童親議会会副でより、後興に尽力する 1925年 昭和2年 87 日本国際児童親議会会副でより、後興に尽力する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親議会会副でより、後期にに出席する 松平定信(楽翁) 伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親議会会創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参外、御陪食の光学に浴する	1863年	文久3年	23	高崎城乗っ取りや横浜の外国人商館の焼き討ちを計画するが、尾高長七郎(惇忠の弟)の説得に
1867年 慶応3年 27 将軍徳川慶喜の弟・昭武に従いフランスのパリ万博などを視察する 1868年 明治1年 28 フランスより帰国。静岡藩に仁える 1869年 明治2年 29 静岡藩に「商法会所」を設立、明治新政府に仕官。租税正となる 1873年 明治6年 33 大蔵省を辞任し、第一国立銀行総監役となる 25 東京養育院の事務長となる 25 東京教育院の事務長となる 25 東京教育院の事務長となる 25 東京教育院の事務長となる 25 東京教育院の事務長となる 25 東京教育院の事務長となる 25 東京教育院の事務長となる 25 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 25 東京府からの廃止の動きた対し、その頭取となる 25 東京府からの廃止の動きた対し、その頭取となる 25 東京府からの廃止の動きとなる 25 東京府がよりでは、25 東京のは、25 東京府がよりでは、25 東京のは、25 東京府がよりでは、25 東京のは、25			23	より中止。渋沢喜作と共に京都にのぼる
1868年 明治1年 28 プランスより帰国。静岡藩に仕える 1869年 明治2年 29 静岡藩に「商法会所」を設立。明治新政府に仕官。租税正となる 1873年 明治6年 33 大蔵省を辞任し、第一国立銀行総監役となる わが国最初の洋紙製造会社(抄紙会社)の創立を指導、運営。 東京養育院の事務長となる 1879年 明治12年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1882年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治30年 56 第一国立銀行が株式会社等・日銀行となり、その頭取となる (~明治38年 1990年 明治30年 57 澁澤倉庫都開業・十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1915年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正12年 81 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1922年 大正12年 82 関東大震災。大震災高後会副会長となり、復興に尽力する 37 会員を辞していて政府に勧きかける 1927年 昭和2年 87 日本国際児童観書を会創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童観書をを創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1864年	元治1年	24	平岡円四郎のはからいで喜作とともに一橋家に仕官する
1869年 明治2年 29 静岡藩に「商法会所」を設立。明治新政府に仕官。租税正となる 1873年 明治6年 33	1867年	慶応3年	27	将軍徳川慶喜の弟・昭武に従いフランスのパリ万博などを視察する
1873年 明治6年 33 大蔵省を辞任し、第一国立銀行総監役となる 2 わが国最初の洋紙製造会社(抄紙会社)の創立を指導、運営。 1876年 明治9年 36 東京養育院の事務長となる 1878年 明治11年 38 東京商法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(~明治38年まで) 1879年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1897年 明治30年 57 満澤倉庫部開業・十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1915年 大正3年 74 日中経済のより繋密な関係を築くため、中国を視察し親蓋に努める 1915年 大正5年 75 「プラを授けられる 2926年 大正5年 75 西を授けられる 2926年 大正19年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 高行企業集に戻わする 高子の機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 3 両23年 大正12年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 3 両23年 大正15年 86 松平定信(業翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1868年	明治1年	28	フランスより帰国。静岡藩に仕える
1875年 明治6年 33 わが国最初の洋紙製造会社(抄紙会社)の創立を指導、運営。 1876年 明治9年 36 東京養育院の事務長となる 1878年 明治11年 38 東京商法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(〜明治38年まで) 1879年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業・十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1915年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ連河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1920年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1925年 松正15年 86 松平定信(業翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善に発わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善に受わてる 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1869年	明治2年	29	静岡藩に「商法会所」を設立。明治新政府に仕官。租税正となる
1876年 明治9年 36 東京養育院の事務長となる 東京商送会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(~明治38年まで) 1879年 明治12年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1882年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治30年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1920年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 7920年 大正19年 80 7島を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍締会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1873年	明治6年	33	大蔵省を辞任し、第一国立銀行総監役となる
1878年 明治11年 38 東京商法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(〜明治38年まで) 1879年 明治12年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1882年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治29年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治34年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ連河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する				わが国最初の洋紙製造会社(抄紙会社)の創立を指導、運営。
1879年 明治12年 39 前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う 1882年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治29年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ連河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正19年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1876年	明治9年	36	東京養育院の事務長となる
1882年 明治15年 42 妻ちよ死去 1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治29年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する	1878年	明治11年	38	東京商法会議所(後の東京商工会→東京商業会議所)の会頭となる(~明治38年まで)
1883年 明治16年 43 伊藤兼子を妻に迎える 1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治29年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 おける 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和4年 89 宮中に参り、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1879年	明治12年	39	前アメリカ大統領グラント将軍の歓迎会を行う
1885年 明治18年 45 東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する 1896年 明治29年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1882年	明治15年	42	妻ちよ死去
1896年 明治29年 56 第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる 1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1883年	明治16年	43	伊藤兼子を妻に迎える
1897年 明治30年 57 澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。 1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治35年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ連河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1885年	明治18年	45	東京府からの廃止の動きに対し、東京養育院の存続に努力する
1900年 明治33年 60 男爵を授けられる 1901年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1896年	明治29年	56	第一国立銀行が株式会社第一銀行となり、その頭取となる
1901年 明治34年 61 日本女子大学校開校(後に校長となる) 1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(業翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1897年	明治30年	57	澁澤倉庫部開業。十勝開墾合資会社設立。
1902年 明治35年 62 アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める 1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ連河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1923年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1900年	明治33年	60	男爵を授けられる
1909年 明治42年 69 古稀を機に多くの役員を辞任 1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1901年	明治34年	61	日本女子大学校開校(後に校長となる)
1914年 大正3年 74 日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める 1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1902年	明治35年	62	アメリカ及びヨーロッパ諸国を夫人と共に訪問し、国際親善に努める
1915年 大正4年 75 パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める 1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1909年	明治42年	69	古稀を機に多くの役員を辞任
1916年 大正5年 76 喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する 1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 お付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1914年	大正3年	74	日中経済のより緊密な関係を築くため、中国を視察し親善に努める
1920年 大正9年 80 子爵を授けられる 1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1915年	大正4年	75	パナマ運河開通記念博覧会を見学し日米親善に努める
1921年 大正10年 81 ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する 1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 お付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1916年	大正5年	76	喜寿を機に引退し社会公共事業に尽力する。「論語と算盤」を刊行する
1923年 大正12年 83 関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する 1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1920年	大正9年	80	子爵を授けられる
1926年 大正15年 86 寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1921年	大正10年	81	ワシントン軍縮会議の視察のため渡米し平和外交を促進する
1926年 大正15年 86 松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1923年	大正12年	83	関東大震災。大震災善後会副会長となり、復興に尽力する
松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる 1927年 昭和2年 87 日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する 1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1926年	大正15年	86	寄付金募集に尽力した埼玉会館が竣工。開館式に出席する
1929年 昭和4年 89 宮中に参内、御陪食の光栄に浴する 1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける				松平定信(楽翁)伝記編纂に携わる
1930年 昭和5年 90 救護法の実施について政府に働きかける	1927年	昭和2年	87	日本国際児童親善会を創立し、会長として「青い目の人形」事業に尽力する
	1929年	昭和4年	89	宮中に参内、御陪食の光栄に浴する
1931年 昭和6年 91 11月11日午前1時50分永眠	1930年	昭和5年	90	救護法の実施について政府に働きかける
	1931年	昭和6年	91	11月11日午前1時50分永眠

2021年 令和3年	-	NHK大河ドラマ「青天を衝け」が放映される
2024年 令和6年	_	7月3日、肖像が使用された新一万円札が発行される